

## カーボンニュートラル 達成状況報告書

垣見油化が1年間の企業活動において使用したエネルギーにおけるカーボンニュートラル達成状況をご報告します。

垣見油化の自家用エネルギーの1年間の使用量は、電力46万4千kWh（CO<sub>2</sub>換算174.5ト）、社員の通勤用も含むガソリンの使用量は20.5kl（CO<sub>2</sub>換算47.6ト）、自家用LPガス8.8t（CO<sub>2</sub>換算26.4ト）、自家用暖房用灯油は1.6kl（CO<sub>2</sub>換算4.0ト）。以上の企業活動に伴うエネルギーの使用により発生したと思われる炭酸ガスの合計量は年間252.5トです。

一方、垣見油化が所有する太陽光発電所により1年間に発電した総容量は、垣見ソーラーパワー1が年間1018千kWh、瑞穂充填所39.8千kWh、セルフ河辺10.6千kWhで、合計発電量は1068.4千kWh、CO<sub>2</sub>換算で401.8トとなり垣見油化のCO<sub>2</sub>発生量252.5トを充分上回っております。

以上のことから垣見油化の電力、ガス、石油品等の企業活動によって消費したエネルギーにおいては、カーボンニュートラルのScope1（事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）とScope2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）は既にクリアしたと考えております。

今後は関連会社である、垣見興産、ジョイプランニング、多摩液化ガスも含め垣見油化グループの全体から出るCO<sub>2</sub>のカーボンニュートラルの達成を目指す所存です。

令和4年10月－令和5年9月

係数2022年度環境省HP参照

場所	電気	係数0.376	ガソリン	係数 2.32	LPガス	係数 3.00	灯油	係数 2.49	合計
	使用量 (kWh)	CO <sub>2</sub> (t)	使用量(L)	CO <sub>2</sub> (t)	使用量(t)	CO <sub>2</sub> (t)	使用量(L)	CO <sub>2</sub> (t)	CO <sub>2</sub> (t)
瑞穂	220,000	82.7	6,600	15.3	8.8	26.4	0	0.0	124.4
河辺	34,000	12.8	560	1.3	0	0.0	0	0.0	14.1
馬込	40,000	15.0	940	2.2	0	0.0	340	0.8	18.1
八王子	38,000	14.3	360	0.8	0	0.0	51	0.1	15.3
南田無	22,000	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8.3
吉祥寺	37,000	13.9	330	0.8	0	0.0	0	0.0	14.7
駒込	30,000	11.3	630	1.5	0	0.0	480	1.2	13.9
東村山	2,000	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.8
徳山	8,000	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3.0
大阪	6,000	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2.3
本社	27,000	10.2	10,260	23.8	0	0.0	420	1.0	35.0
合計	464,000	174.5	20,523	47.6	8.8	26.4	1,620	4.0	252.5

太陽光	KSP1	瑞穂	河辺	合計
発電量(kWh)	1,018,000	39,800	10,600	1,068,400
CO <sub>2</sub> (t)	382.8	14.96	4.00	401.8(t)